

2018.9.11 &lt;計2枚&gt;

京都大学記者クラブ加盟各社 各位  
草津市政記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

**2018年度特別展「世界報道写真展 2018 -記録された瞬間 記憶される永遠-」および  
安田菜津紀講演会「写真で伝える仕事 -世界の子どもたちと向き合って-」開催**

国際平和ミュージアムは、立命館大学の衣笠キャンパス(京都市)およびびわこ・くさつキャンパス(滋賀県草津市)で「世界報道写真展 2018」を開催いたします。

世界約 100 会場で開催される世界最大級の報道写真展である本展は、今年で 61 回目を迎えます。今回は、125 の国と地域から 4,548 人のフォトグラファーが参加し、73,044 点の応募がありました。その中から「現代社会の問題」、「一般ニュース」、「長期取材」、「自然」、「人々」、「スポーツ」、「スポットニュース」、「環境」の 8 部門において、22 カ国 42 人の受賞が決まりました。

「一般ニュースの部」では、イヴォール・プリケットがイスラム国 (ISIS) からのモスル奪還を巡る戦闘に巻き込まれる市民や廃墟と化する街を捉えています。また、「人々の部」では、イスラム過激派「ボコ・ハラム」の誘拐から逃げだし、自爆用の爆弾から免れた少女たちの姿をアダム・ファーガソンが撮影しました。この他、密猟者からの保護のため自由を脅かされざるを得ない動物、ベネズエラにおける大統領に対する抗議活動の様態など、世界の「いま」を克明に伝える写真の数々を紹介いたします。本展が、世界の現状を知り、平和とは何かをいま一度考えるきっかけになれば幸いです。

なお、関連企画として、フォトジャーナリスト・安田菜津紀氏による講演会を開催いたします。東南アジア、アフリカの貧困や HIV、中東の難民問題などの取材を続ける安田氏が現場で何を思い、何を伝えようとしているのか、また写真(カメラ)の果たす役割とは何か、自身の取材活動についてさまざまな角度から語っていただきます。

記

**会期・会場：【京都会場】2018年10月6日(土)～10月28日(日)**

※休館日：10月9日(火)、15日(月)、22日(月)

立命館大学衣笠キャンパス 国際平和ミュージアム 中野記念ホール

**【滋賀会場】2018年10月30日(火)～11月11日(日)※会期中無休**

立命館大学びわこ・くさつキャンパス エポック立命 21 エポックホール

開館時間：9:30～16:30(入館は 16:00 まで)

参観料：大人 500 円、中・高生 300 円、小学生 200 円

展示内容：世界報道写真財団によって選ばれたコンテストの入賞作品約 150 点を展示

主催：立命館大学国際平和ミュージアム、朝日新聞社、世界報道写真財団

以上

## ●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学国際平和ミュージアム 担当：Bacon・渡邊・田島・西久保

TEL.075-465-8151

## 関連企画

安田菜津紀講演会「写真で伝える仕事 -世界の子どもたちと向き合って-(仮)」

日時：2018年10月19日(金) 18:00~19:00

場所：立命館大学衣笠キャンパス 国際平和ミュージアム 1階ロビー

内容：安田氏による講演(約60分)

テーマ(仮)「写真で伝える仕事 -世界の子どもたちと向き合って-」

参加費：無料、どなたでも聴講いただけます。 ※定員50~80名

### 【安田菜津紀氏プロフィール】

1987年神奈川県生まれ。studio AFTERMODE 所属フォトジャーナリスト。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、カンボジアを中心に、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。「HIVと共に生まれる -ウガンダのエイズ孤児たち-」で第8回名取洋之助写真賞受賞。写真絵本に『それでも、海へ 陸前高田に生きる』(ポプラ社)、著書に『君とまた、あの場所へ シリア難民の明日』(新潮社)。『写真で伝える仕事 -世界の子どもたちと向き合って-』(日本写真企画)。上智大学卒。現在、TBS テレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。